

- ・ 学校でのがん教育の着実な実施、教職員へのがんの基礎知識やがん教育に関する研修等、がん教育を推進します。

(5) 感染症のまん延や災害等を見据えたがん対策の推進

- ・ 感染症発生・まん延時や災害時等の有事においても医療を提供できるよう、熊本県がん診療連携協議会と連携し、診療機能の役割分担、各施設が協力した人材育成や応援体制の構築、診療に必要な情報の共有等、地域の実情に応じた連携体制の整備を進めます。

4. 評価指標

指標名	現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
① がん検診受診率	胃がん 男性 50.6% 胃がん 女性 42.9% 肺がん 男性 54.7% 肺がん 女性 51.1% 大腸がん 男性 51.3% 大腸がん 女性 45.1% 子宮頸がん 女性 47.5% 乳がん 女性 51.4% (令和4年)	全項目 60%以上 (令和10年)	市町村・健診機関等と連携することにより、国の第4期計画の目標値(60%)以上を目指す。
② 精密検査受診率	胃がん 82.4% 肺がん 82.1% 大腸がん 75.4% 子宮頸がん 86.1% 乳がん 87.4% (令和2年度)	全項目 90%以上 (令和9年度)	市町村・健診機関等と連携することにより、国の第4期計画の目標値(90%)以上を目指す。
③ がん診療連携拠点病院における緩和ケア研修を受講した医師の割合	国指定がん診療連携拠点病院 86% 県指定がん診療連携拠点病院 76% (令和5年)	国指定がん診療連携拠点病院 90%以上 県指定がん診療連携拠点病院 80%以上 (令和11年)	熊本県がん診療連携協議会等と連携することにより、国指定がん診療連携拠点病院においては、国が掲げる目標値(国指定90%以上)を目指す。 県指定がん診療連携拠点病院においても同様の取組により、国指定の拠点病院と同程度の上昇幅の目標(80%以上)を目指す。
④ がん相談支援センターにおける相談件数	15,214件 (令和4年)	20,000件 (令和10年)	熊本県がん診療連携協議会等と連携することにより、過去10年間で最も件数が多かった平成27年の実績と同程度にすることを旨とする。
⑤ 「私のカルテ」新規年間導入件数	622件 (令和4年度)	1,000件 (令和11年度)	コロナ禍の影響がない平成29年度から平成30年度の伸び率を参考に、毎年度、件数を前年度比7%増加することを旨とする。

1次予防・2次予防	S		緩和ケア研修会を受講したがん診療連携拠点病院における医師の割合	なし ※県で把握可	R5 (毎年)	-	国指定:86% 県指定:76%	-													%	○
共生	P	●	がん相談支援センターにおける相談件数	現況報告	R4 (毎年)	-	15,214	-													件数	○
	O		「私のカルテ」新規年間導入件数	なし ※熊本大学病院からの報告に基づく	R4年度 (毎年)	-	622	-													件数	○